

環境政策課からリサイクルを中心としてエコな情報をお届けしてまいります。

今回は「衛生自治会理事研修」についてです。本研修では衛生自治会会員が搬出した、資源の出荷先を視察し、リサイクルに関しての理解を深め、自治会のステーション管理や、分別に関する知識の向上を図ることを目的としています。

(町内研修)

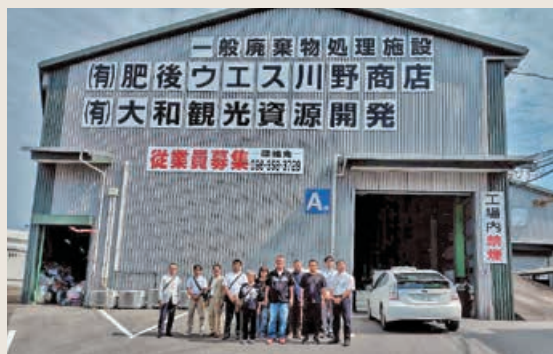
令和7年8月30日(土)に大崎町衛生自治会理事会において町内研修がおこなわれました。今回は町内のごみステーションと、志布志市の循環センターを視察しました。宇都口集落は住民も捨てやすく回収業者も安全に回収することができるステーションでした。上町集落では昨年度改良した鉄製のごみ籠をステーションに設置し、生ごみバケツを取り出しやすいと好評でした。

その後、志布志市の循環センターを視察しました。循環センターは大崎町と同じく常設のステーションであり、主に紙の分別について研修いたしました。



(町外研修)

令和7年10月15日(水)に熊本市の有限会社肥後ウエス川野商店と熊本市リサイクル事業センターを視察しました。有限会社肥後ウエス川野商店の主な事業内容は、ウエス(布くず)の収集・選別、中古衣料の販売・輸出、及び再生資源のリサイクルで、衣類のリユース、リサイクルに特化した企業です。大崎町から排出された古着や布類は、さらに分類され海外へリユースとして輸出されているほか、自動車工場のウエスとして再利用されていました。熊本市リサイクル事業センターは、大崎町で分別されたペットボトルが搬入されていました。大崎町からのペットボトルは町民の皆様がきちんと洗ってラベルとキャップを外して捨てているので新しいペットボトルの材料として高値で買い取りされているとのことでした。



【お問い合わせ先】 環境政策課 ☎476-1111 環境衛生係(内線161)、環境政策係(内線163)